



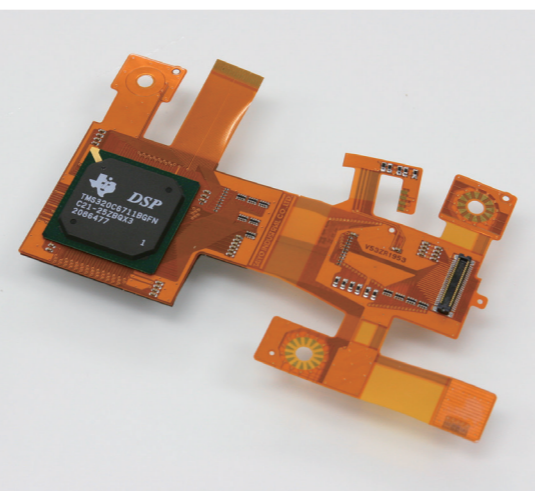
当社では、主に電子機器などに使用されるフレキシブルプリント配線板や基板検査機を製造しています。世界が目まぐるしく進化する中、熱い情熱と理想を実現する技術力でエレクトロニクスという広大で深い分野を切り開きます。

業種 製造 所在地 和歌山市有本661 TEL 073-431-6311 FAX 073-428-0204

従業員 正規208名(男148:女60) / 非正規24名(男14:女10)

結婚・子育てのための取り組み 育児休業 / 男性の育児休業 / 短時間勤務の適用期間を拡大 / 変形労働時間勤務 / 時差出勤
時間単位の有給休暇 / 出産・育児サポートブックの作成

WEB <http://www.taiyo-xelcom.co.jp>



ワークライフバランスの実現を目指して 育児支援に対する社内の意識改革を実施



会社全体での積極的な育児支援で、プラチナくるみん認定も取得

2007年に女性社員が当社初となる育児休業制度を利用し、そこから5年遅れで男性社員の利用も現れました。職場環境改善の取り組みの中でこの制度が始まったわけですが、他にも、復帰後の短時間勤務は子供が小学校3年生まで取得可能で、急にお迎えが必要になった場合でも時間単位で有給休暇が取得できるなど、様々な角度から育児支援策を講じています。

ワークライフバランスを実現するため、2010年に各部門から選ばれた女性社員8人で「Win-Winプロジェクト」というチームを発足しました。そこで出産・育児に関する制度をまとめたサポートブックを制作・配布し、出産や育児休業のスケジュールを可視化するなど、さまざまな意識改革を進めた結果、女

性の育児休業取得率および取得後の復帰率は現在100%で、男性社員も延べ11人が育児休業を経験しています。このプロジェクトを通して当社は2度のくるみん認定を受け、2018年には、より水準の高い「プラチナくるみん」認定を受けることができました。また女性活躍企業の認定「えるぼし」もいただきました。

上司の意識が変わらないと制度があっても利用したいと言にくいのではと、社内研修を実施して、最終的に約40人いる管理職全員で「イクボス(仕事と育児を両立しやすい環境の整備に努めるリーダー)宣言」をしました。

今後の課題は、育児休業中のフォロー体制のレベルアップです。その人でないとできない仕事があると育児休業の取得に対して消極的になってしまうので、これを改善したいと考えています。一人ひとりの生産性を向上するために、現場も少しずつやり方を変えていくことが必要ですし、管理部門としてもバックアップしていくつもりです。



総務部次長 / 大地 隆司さん

解消したい課題

ワークライフバランスの実現

- 女性社員をもっと育成・登用したい。
- 育児支援制度があっても取りにくい社内の雰囲気。
- 男性社員を中心に全社的な意識改革が必要。

課題への取り組み

プロジェクトチーム「Win-Winプロジェクト」発足

- 個別面談や情報提供で**育児休業を利用しやすい環境を整備**。
育児休業に入る社員の情報を社内で共有し、休業中もコミュニケーションを分断せずにサポート。
- 制度の周知を図る「**出産・育児サポートブック**」を作成。
- 短時間勤務の対象を**小学校3年生まで拡大**。
- **時間単位の有給休暇制度**を導入し、育児へのイレギュラーな対応を可能に。
- 女性社員だけでなく、管理職の**意識改革のための研修会**を実施。



Win-Winプロジェクト

導入成功のアイデア

- 総務担当者が本人だけでなく、上司も交えて面談し、丁寧に説明することで、安心感を持ってもらえ、制度の理解促進につながりました。

導入の成果

育児への理解が飛躍的に向上

- 2016年以来、女性社員の育児休業後の**復帰率は100%**。
- 男性の育児休業取得率も増え、**くるみん、プラチナくるみんマーク**を取得。
- 研修会を経て、**管理職全員で「イクボス宣言」**ができるように。



現場の声

【育児休業を利用した製造部生産企画課の畑さん】

考え方が変わる大きなきっかけになった



最初の子供の際は育児休業を取得しなかったのですが、2人目が生まれるというタイミングで上司に背中を押していただいたこともあり、2週間の育児休業を取得しました。

いざ実際に育児に関わってみると、いかにこれまで楽しい部分しか見ていなかったのかということを実感しました。長期間育児を経験したことで妻の大変さを理解でき、仕事と子

育てに対する考え方が変わる大きなきっかけになりました。今は洗濯やお風呂洗い、食器洗いにおむつ替えと、積極的に関わっています。

以前は「こんなに長く休むと周りに迷惑をかけてしまう」と思っていたのですが、取得するのを伝えると、みんな理解し応援してくれました。そして職場のみんながサポートしてくれたおかげで、仕事には全く問題ありませんでした。

今後、育児休業の取得に迷っている後輩には自分が仕事を引き取ることで、思いきって休めるようにフォローしてあげたいです。

